北海道における *Blaberus discoidalis* (Serville) の発見Discovery of *Blaberus discoidalis* (Serville) in Hokkaido

青山修三*

Syuzo AOYAMA

Blaberidae 科のゴキブリはまだ北海道に侵入した記録がないが、最近札幌市内において *Blaberus discoidalis* (Serville) を採集したので簡単に記録しておくことにする。

1972年12月11日、札幌市の郊外、住宅地にある100坪ほどのごく普通のマーケットから大型の昆虫がいるとの連絡があったので、筆者が調査を行なった結果、すでに死亡していたゴキブリの幼虫と成虫各1頭ずつを採集した。これらのうち幼虫は *Periplaneta americana* (Linné) であったが、成虫はハイチ、キューバ、プエルトリコなどに分布している *Blaberus discoidalis* (Serville) と同定された。マーケットの建物周囲は積雪状態であって、店内には大型暖房設備がなかった。しかし、12月4日ごろから店員の1人が見なれない大型のゴキブ

りらしい虫が時折壁に静止しているのを見つけては追い払っていたが、あまりの不気味さに筆者が調査する前日に、多量の DDVP くん煙剤で駆除した由である。したがって、筆者が採集したゴキブリは、多分生存状態で北海道に運ばれていたと推察されるのである。*P. americana* は本邦にも生息しているので、2種のゴキブリの侵入経路は不明である。しかし *B. discoidalis* については野菜売場に入荷していたパイナップルやバナナなどの果物に潜伏して、搬入された可能性が強いので、今後の防疫についてはより一層の注意が必要と思われる。

末筆ながら、種名を同定してくださった国立予防衛生研究所朝比奈正二郎博士をはじめ、種々ご教示をいただいた帯広畜産大学西島浩教授ならびに北海道衛研服部睦作博士に厚くお礼を申し上げる。

* 日本サニタ株式会社研究室